

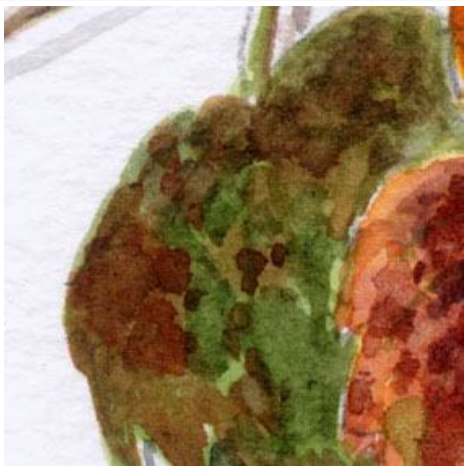
水彩画教室「ツタの葉」

お茶の水女子大学附属小学校教諭  
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員  
田中 千尋 Chihiro Tanaka

東京は12月に入ってやっと晩秋を迎えます さまざまな木々が紅葉しますが 私は色づいたツタの葉が好きです 草のように見えますが ツタは樹木です 一本の幹に毎年葉が付き 毎年晩秋に色づきます 深い緑から濃い紫まで 画箱の中にある絵の具を ほとんど全色使わないと描けないような色です



これが完成した絵です



1、深い緑の葉 しかし一様な深緑(ビリジアン)ではありません ここだけでも5色以上重ねています



2、左中央が一番ツタらしい色でした この葉にはたぶん7~8色の絵の具を使ったと思います



3、一番難しいのは「葉脈」です きちんと絵描すると「わざとらしく」なるので 控えめにしました



4、葉の落とす「影」も大切です 葉の周縁部(鋸葉)の形に影も描きます



5、一番右側の葉までは あえて間隔を置いてみました それがかえって効果的だったような気がします



6、幹(枝)は細く 節(葉のついていた跡)ごとに少し角度をつけて 枝にも影をつけます